

CLIPPEDIMAGE= JP357031074A
PUB-NO: JP357031074A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 57031074 A
TITLE: AUTOMATIC VENDING MACHINE FOR VOTE TICKET
PUBN-DATE: February 19, 1982
INVENTOR-INFORMATION:
NAME
HINO, NORIO
OHASHI, YOSHINORI
INT-CL_(IPC): G06F015/28; G07C013/00

US-CL-CURRENT: 235/386,705/12

ABSTRACT:

PURPOSE: To change automatically contents of vote tickets sold already and to treat rapidly and precisely mistaken tickets and so on by connecting a controlling part connected with a ticket printing part and a coin identifying part with a discriminating part that can discriminate contents of the vote ticket.

CONSTITUTION: An operating part that instructs contents of a vote is connected with a controlling part 7 of an automatic vote ticket vending machine 1, and further to the controlling part 7, a coin discriminating part 33 that discriminates truth or falsehood of coin thrown from a coin inserting port 27 and a printing part 32 that issues a vote ticket 36 from an exit port 25. A change button 12 that can assign a change of contents of the vote ticket 36 that has been sold is connected to the controlling part 7, while a ticket discriminating part 19 that can discriminate contents of the vote ticket 36 changed is connected to the same. Further information from the discriminating part 19 inputted into the controlling part 7 is sent to a central computer 10 and whether the vote ticket 36 can be changed or not is checked with the computer 10. Then if the exchange is possible, the content of change is indicated on a display part 11, and a change instruction is given from the controlling part 7 to the printing part 32, thus allowing the vote ticket 36 printed newly is issued automatically.

COPYRIGHT: (C)1982,JPO&Japio

⑤ Int. Cl.³
G 06 F 15/28
G 07 C 13/00

識別記号

特 許 公 報
706-51
810-31

⑬ 公開 昭和57年(1982)2月19日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑭ 投票券自動発売機

⑯ 特 願 昭55-105867

⑰ 出 願 昭55(1980)7月31日

⑱ 発 明 者 日野紀男

川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内

⑲ 発 明 者 大橋喜法

川崎市中原区上小田中1015番地
富士通株式会社内

⑳ 出 願 人 富士通株式会社

川崎市中原区上小田中1015番地

㉑ 代 理 人 弁理士 松岡宏四郎

明 細 書

1 発明の名称 投票券自動発売機

2 特許請求の範囲

制御部に接続され、投票内容を指示し得る操作部を有し、前記制御部に券印刷部及び貨幣鑑別部を接続し、投入された貨幣の金額に応じて投票内容を印刷した投票券を発券し得る投票券自動発売機において、前記制御部に投票券の投票内容を判別し得る券判別部を接続し、既に発売済みの投票券の投票内容を変更し得るように構成した投票券自動発売機。

3 発明の詳細な説明

本発明は、変更機能を有する投票券自動発売機に関する。

通常、競馬、競輪競技等における投票券の発売に際して、客の思い違いや操作ミスによつて発売機が客の本来意図しない券を発券することが多々あるが、従来こうした間違い券は、客の申し出により係員が交換するか、あるいは全く交換を受けつけないということで対処していた。

しかし、これではたとえ交換するにしても煩雑な手作業に依存するため手間がかかり、客とのトラブルが発生しやすい欠点があつた。

そこで、本発明は、制御部に投票券の投票内容を判別し得る券判別部を接続し、既に発売済みの投票券の投票内容を変更し得るように構成し、もつて前述の欠点を解消した投票券自動発売機を提供することを目的とするものである。

以下、図面に示す一実施例に基き、本発明を具体的に説明する。

投票券自動発売機1は、第1図に示すように、中央に操作部2が設けられており、操作部2にはレース釦3、組番釦5、金額釦6が設けられ、客は各釦3、5、6を順次押すことによりレース番号、組番号、及び投票券金額等の投票内容を指定することができる。操作部2は、第2図に示すように、制御部7に接続しており、制御部7はインターフェース部9を介してセンター計算機10に接続している。一方、操作部2の第1図における下方には、変更内容表示部11、

変更鈕 12 及び券投入口 13 が設けられており、表示部 11 及び変更鈕 12 は制御部 7 に接続されている。券投入口 13 には、第 2 図に示すように、多数の搬送ローラー 15、15' により形成される券搬送ルート 16 が接続しており、ローラー 15 は制御部 7 に接続されたモーター 17 により正逆方向に回転駆動自在に設けられている。搬送ルート 16 中には券判別部 19 が設けられており、券判別部 19 には磁気ヘッド、光学的文字（記号）読取装置等の読取ヘッド 20 が制御部 7 に接続された形で設けられている。判別部 20 の図中右方には廃券部 21 が設けられており、廃券部 21 には制御部 7 により駆動されるパンチ 22 及びスタッカー 23 が設置されている。また、券投入口 13 の、第 1 図下方には、券取出し口 25 が設けられており、操作部 2 の図中右方には残金表示部 26、硬貨投入口 27、紙幣投入口 29 が設けられ、更に操作部 2 の上方には制御部 7 に接続されたコメント表示部 30 が設けられている。券取出し口 25

には、第 2 図に示すように、給紙部 31 及び制御部 7 に接続された券印刷部 32 が設けられており、投入口 27、29 には制御部 7 に接続された貨幣鑑別部 33 及び貨幣収納部 35 が設けられている。

本発明は、以上のような 成を有するので、通常の投票券の発売の場合は、客が紙幣投入口 29、硬貨投入口 27 に投入した貨幣を貨幣鑑別部 33 により真偽鑑別すると共に、鑑別済み貨幣を貨幣収納部 35 に収納し、投入金額を残金表示部 26 に表示し、コメント表示部 30 がレース番号、組番号、投票券金額等の投票内容を指定する操作を行なうように客に促す。客はレース鈕 3、組番号鈕 5、金額鈕 6 を押すことにより、制御部 7 に投票内容を指示し、制御部 7 は券印刷部 32 に、指定された投票内容が印字された投票券 36 の発行を指令し、印刷部 32 は給紙部 31 から紙の供給を受けて所定の投票券 36 を券取り出し口 25 を介して発券する。この際、投票券 36 には、読取ヘッド 20 によ

る投票内容の読取りが可能にように、マーク、磁気ストライプ等を利用して投票内容が記録される。次に、客が投票券 36 の投票内容を変更したいと思つた場合には、変更鈕 12 を客が押すことにより発売機 1 は変更動作に入る。しかし、鈕 12 を押した時点で発売機 1 が本来の発券動作中である場合や、何らかのトラブルが生じて変更動作が不可能な場合には、制御部 7 はコメント表示部 30 に変更が不可能な旨、適宜な内容で案内動作を行なわせる。変更動作が可能の場合には、コメント表示部 30 により、客に投票券 36 を券投入口 13 に投入するよう指示し、投入された投票券 36 を搬送ルート 16 に沿つて搬送ローラー 15、15' により券判別部 19 に送り、読取ヘッド 20 により投票券 36 の投票内容、即ち前述のレース番号等を読取る。読取られたデータは制御部 7、インターフェース部 9 を経てセンター計算機 10 に送られ、計算機 10 は読取不良、データ内容の適否、更に投入された投票券 36 のレースが発走前

で発売締切になつていないかどうか等をチェックし、投票券 36 が有効と判定された場合には、投票券 36 の投票内容、即ち変更前の内容を変更内容表示部 11 に表示し、コメント表示部 30 から操作部 2 から変更すべき投票内容を指示して欲しい旨の案内動作を客に対して行なう。なお、計算機 10 が投票券 36 をチェックした結果、有効とは認められなかつた場合には、搬送ローラー 15、15' により投票券 36 を券投入口 13 側へ搬送し、客へ返却する。次に、客が操作部 2 から変更すべき投票内容を指示した場合には、通常の発券動作と全く同様の手順で、制御部 7 は変更後の投票内容を表示した新たな投票券 36 を発券するが、客が投票券金額も変更する場合で、より高額な金額に変更する際には、客が投入口 27、29 から新たに投入した金額と、変更を要する投票券 36 の金額を合計した金額を表示部 26 に表示し、後は通常の発券動作に戻り、より低額な金額に変更する場合には、変更後の金額を表示した投票券 36 を発

券すると共に、残金については制御部7の指令に基き、印刷部32が残金額を印刷した金券を発行し、取出口25から客に渡す。なお、発行された金券は、券投入口13から投入することにより、読取ヘッド20が金額を読取つて、制御部7に貨幣の投入と同じ効果を与えるので、現金同様に扱うことができる。このように、投票券金額をも変更できるようにすると、最近広く用いられている金額可変のユニット投票券に対しては極めて効果的である。なお、新たな投票券36が発券されると、変更前の投票券36は搬送ルート16に沿つて廃券部21に送られ、パンチ22により穴36aが穿設されて無効券として廃券処理され、スタッカー23に投入される。以上の動作が終了すると、発売機1は待機状態に復帰し、次の券売又は変更動作に備える。また、修正、発券に伴なりデータは、リアルタイムでセンター計算機10に伝達処理され、集計処理上の不都合が生じることはない。

なお、上述の実施例は、変更鍵12により変

更動作を制御部7に指令したが、変更鍵12を特に設けず、投票券36を券投入口13に投入すると直ちに変更動作に入るようにすることも可能であり、また、操作部2を本来の発売用と変更用とに分割して設けたり、変更内容表示部11の代わりに、操作部2の各鍵3、5、6を適宜点燈させて投入された投票券36の投票内容を表示するようにすることもできる。

以上説明したように、本発明によれば、既に発売済みの投票券36の投票内容を投票券発売機1自身が変更することができるので、間違ひ券等の処理を手作業によらず迅速かつ正確に行なうことが可能となり、客との間のトラブルの発生を未然に防止することができる。

4 図面の簡単な説明

第1図は本発明である投票券自動発売機の一実施例を示す正面図、第2図は第1図の自動発売機の全体構成を示すブロック図である。

1 …… 投票券自動発売機

2 …… 操作部

7 …… 制御部

19 …… 券判別部

32 …… 券印刷部

33 …… 貨幣鑑別部

36 …… 投票券

出願人 富士通株式会社

代理人 弁理士 松岡 宏 四 郎

第1図

1
}



